

第3回 秋田駅西口駅前広場改修事業検討委員会

検 討 資 料

平成31年1月25日

秋 田 市

1. 秋田駅西口駅前広場改修事業について

1 改修の目的

- 秋田駅西口駅前広場について、平成 32 年春の A B S 秋田放送新社屋からの放送開始に合わせて、既存の平面駐車場周辺を、広場内の交通機能の向上や県都の玄関口にふさわしい環境空間として改修するものである。

2 秋田駅および西口周辺の各種計画の動向

- 秋田駅及び西口周辺においては、民間による整備として、平成 25 年に完成した秋田駅西口バスターミナルを皮切りに、秋田駅観光拠点がリニューアルされて大きく様変わりし、さらには、A B S 秋田放送の新社屋建設工事が実施されているほか、現在、秋田市で都市計画道路千秋久保田町線などの事業を行っており、官民による整備事業が着実に進展している。

3 駐車場周辺の現状と課題

(1) 現状（秋田駅西口駅前広場南側区域：約 4,600 m²）

①土地所有 秋 田 市：駅前広場の西側

（駐車場、水辺の広場、歩道等：約 2,600 m²）

J R 秋田支社：駅前広場の東側

（駐車場、一般送迎車両ロータリー、歩道：約 2,000 m²）

②管理協定 駅前広場駐車場の市所有地部分については、J R 秋田支社に貸し付け、本市との管理協定に基づき同社が一体的に運営している。

※駐車場全体面積：約 1,700 m² 内貸付面積：約 1,280 m²

J R 秋田支社では、トピコ・アルス第 1 駐車場が従前の駐車台数 105 台から 228 台へと増設整備（平成 29 年 4 月 1 日開設）され、平面駐車場（55 台分）の役割は終えたとの判断から、市に返還の意向を示している。

(2) 現有施設の課題

- 一般送迎車両ロータリーの曲率半径が小さく、曲がりきれない
- 駅前における環境空間の不足
- 歩道部分の既存融雪施設の老朽化

4 改修事業の概要

平成 30 年度

- 基本計画（条件の整理、設計方針の検討、整備案の検討）
- 基本設計（景観設計、設計図の作成、概算工事費の算定）
補正予算 9,268 千円 ※検討委員会等開催費用を含む

平成 31 年度

- 実施設計
- 改修工事（平成 32 年 3 月末完成予定）

5 スケジュール

平成 30 年

- 7 月 基本計画・基本設計業務委託の契約
- 9 月 第 1 回検討委員会で改修素案の検討（車両動線の検討）
- 11 月 第 2 回検討委員会で改修原案の検討（環境空間の検討）
- 12 月 11 月市議会定例会において改修原案の説明
パブリックコメントの実施

平成 31 年

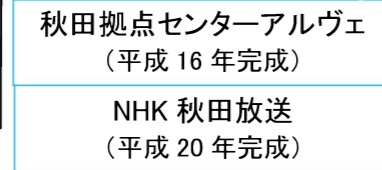
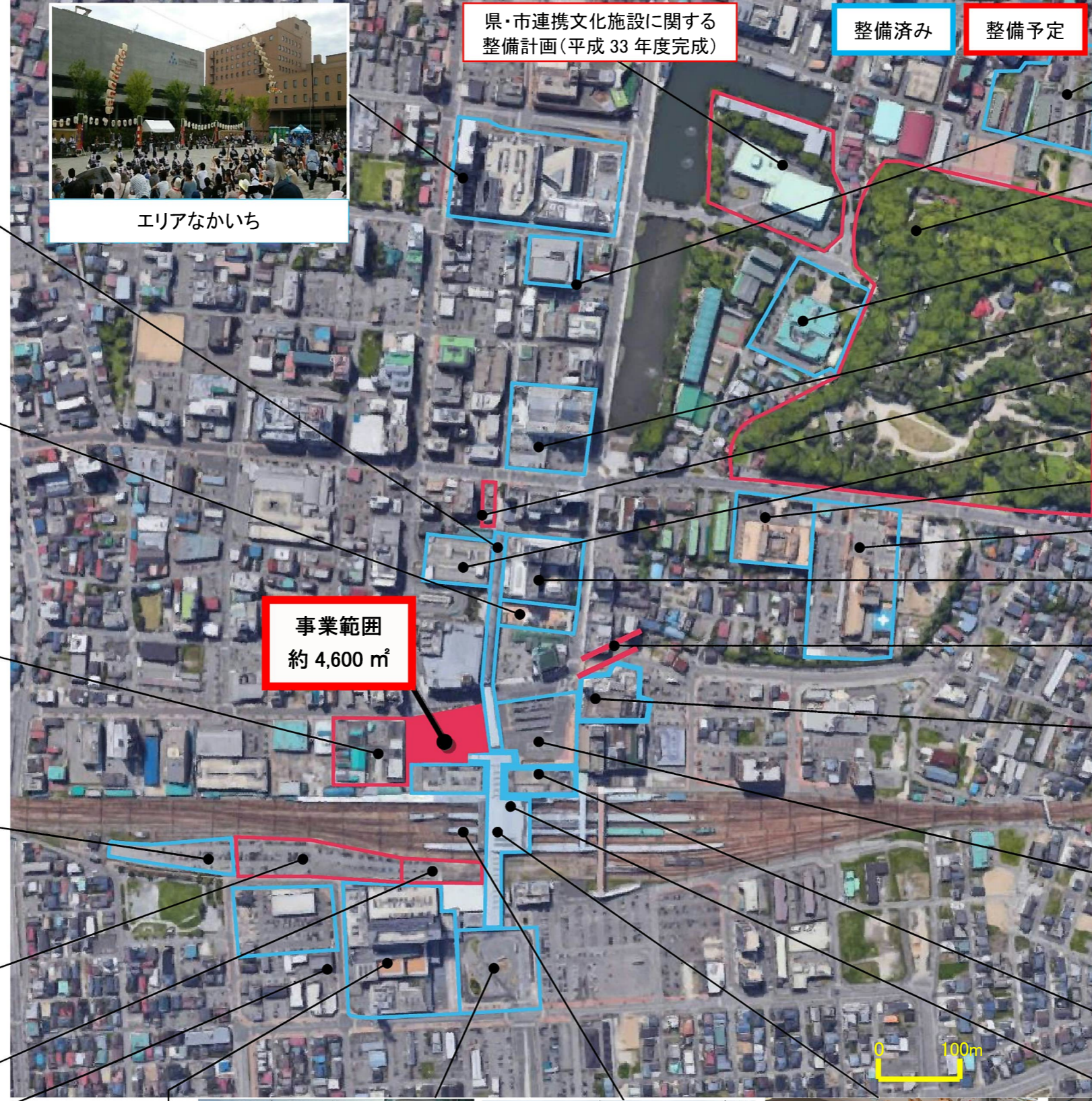
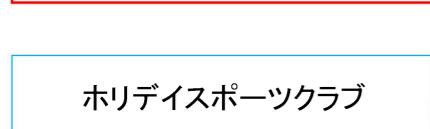
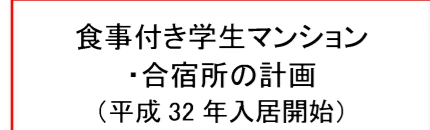
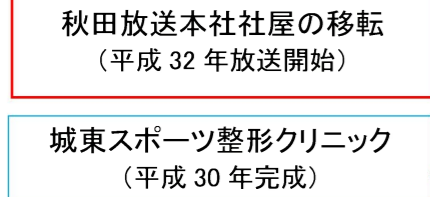
- 1 月 第 3 回検討委員会で改修計画案の検討
- 3 月 2 月市議会定例会において改修計画案を説明、当初予算の上程（実施設計および改修工事費）
改修計画の決定
- 5 月 実施設計業務委託の契約
- 9 月 改修工事の契約

平成 32 年

- 3 月 改修工事の完成

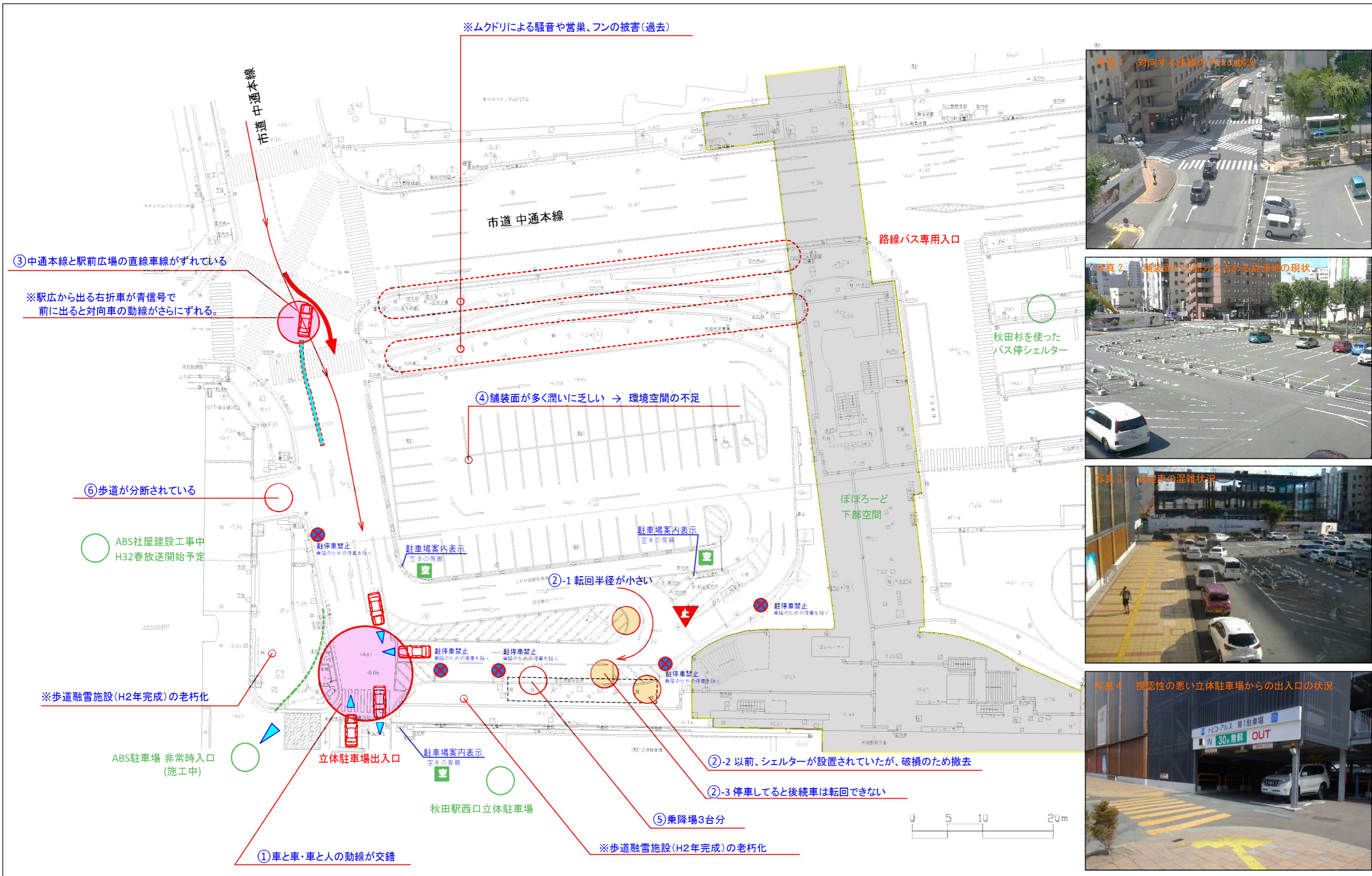
| 年月 | 市（改修業務） | 検討委員会 市民意向調査 | 市議会 |
|------------|--------------------------------|-------------------------------------|----------------------------|
| 30年度 4月 | | | |
| 5月 | | | 閉会中建設委員会 事業概要説明 |
| 6月 | | | 6月議会 基本計画・基本設計の補正予算 |
| 7月 | 業務委託の発注 | | |
| 8月 | 設計計画 諸条件の分析・整理 (車両動線案作成) | | |
| 9月 | | 第 1 回検討委員会 (H30年9月27日開催) | |
| 10月 | 改修素案の作成 (環境空間3案) | | |
| 11月 | | 第 2 回検討委員会 (H30年11月26日開催) | |
| 12月 | 改修原案の作成(1案) | | 11月議会 改修原案説明 |
| 1月 | 改修計画案の作成 | パブリックコメント (H30年12月17日～H31年1月16日) | 閉会中建設委員会 改修計画説明 |
| 2月 | | 第 3 回検討委員会 | |
| 3月 | 改修計画の作成 | | 2月議会改修計画説明 H31当初予算に予算計上 |
| 31年度 4月 | 業務委託の発注 | | |
| 5月～7月 | 詳細設計 | | |
| 8月 | 工事の発注 | | |
| 9月～3月 | 工事施工 | | |

2. 秋田駅周辺の整備状況(広域)



- 県営住宅・県職員住宅
- 県立秋田明德館高等学校
- 千秋公園再整備基本計画
(平成 30 年～)
- 市立中央図書館明德館
- 市立千秋美術館
- 秋田版 CCRC 計画
(平成 30 年度～平成 32 年度)
- 秋田市公営駐車場
- 秋田県総合保健センター
- 秋田県立脳血管研究センター
- 西武 秋田店
- 都市計画道路
千秋久保田町線の整備
- 秋田 OPA 改装
(平成 29 年完成)
- 駅西口バスターミナル改修

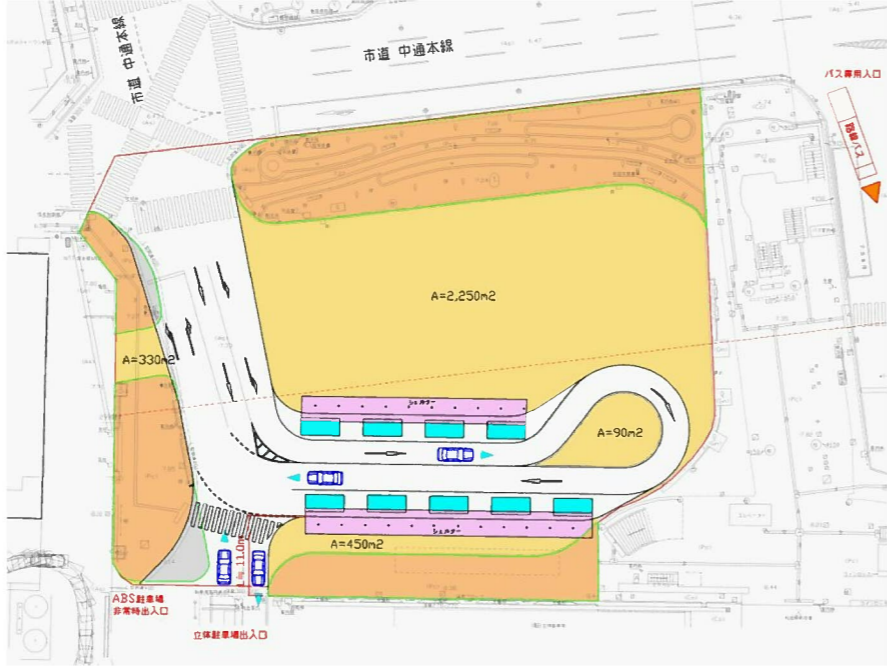
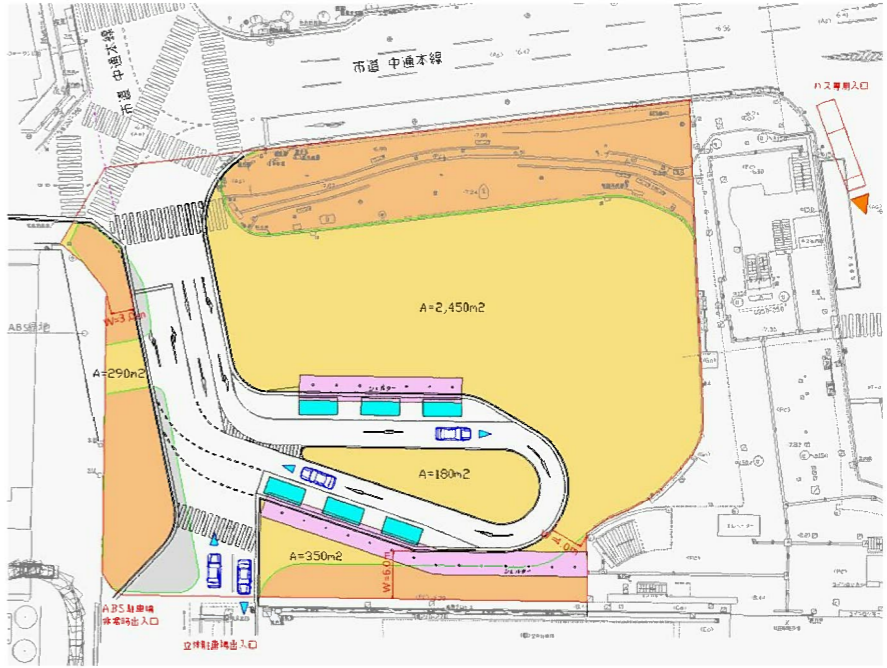
3. 秋田駅西口駅前広場(平面駐車場周辺) 現況の敷地特性・課題



4. 車両動線案の比較 (平成30年9月27日 第1回検討委員会より)

| | | 計画図①案 | 計画図②案 | 計画図③案 | |
|---|--|---|--|---|---|
| | | 駅前広場の出入口を分離した案 | 乗降場(ロータリー)の出入口を一体とした案 | 乗降場(ロータリー)の出入口を分離した案 | |
| 計画平面図 | | | | | |
| | 各案共通目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・車両動線の改善 ・歩行者の安全性向上 ・環境空間の拡大 | | | |
| | 計画方針 | ・駅前広場内を一方通行として、車両の交錯を極力少なくする | ・現状に近い形状をベースとして車両動線を改善する ・歩行者の車道横断箇所を少なくする | ・乗降場の出入口を分離し、車両動線の交錯を少なくする ・ロータリー満車時に駅前広場内での周回待機を可能にする | |
| | 環境空間 | <ul style="list-style-type: none"> ・環境空間面積 A=3,040m² ・環境空間比 $(3,040+3,174)/12,575= 49.4\%$ | <ul style="list-style-type: none"> ・環境空間面積 A=3,120m² ・環境空間比 $(3,120+3,174)/12,575= 50.1\%$ | <ul style="list-style-type: none"> ・環境空間面積 A=3,100m² ・環境空間比 $(3,100+3,174)/12,575= 49.9\%$ | |
| (西口南側の既存環境空間面積 A=1,230m² 西口全体の既存環境空間比 35.0%) | | | | | |
| 乗降車台数 | <ul style="list-style-type: none"> ・広場側 4台 ・駅側 0台 計 4台 | <ul style="list-style-type: none"> ・広場側 4台 ・駅側 5台 計 9台 | <ul style="list-style-type: none"> ・広場側 0台 ・駅側 4台 計 4台 | | |
| (既存乗降スペース 3台) | | | | | |
| シェルター / 駅側通路幅 | <ul style="list-style-type: none"> ・1基 L=27.0m ・駅側通路幅 W=11.4m | <ul style="list-style-type: none"> ・2基 L=37.0m+27.0m=60.0m ・駅側通路幅 W=11.0m | <ul style="list-style-type: none"> ・1基 L=28.8m ※曲線形状 ・駅側通路幅 最大W=14.0m 最小W=4.5m | | |
| (既設シェルター規模 L=21.3m ※平成30年に破損のため撤去済み) / 駅側(背面)通路幅 W=4.5m | | | | | |
| 評価 | 課題 | 対応 | 評価 | 対応 | 評価 |
| | ①動線の交錯 | ・立体駐車場前は分離され安全性が改善される | ○ | ・立体駐車場前は分離され安全性が改善される | ○ |
| | ②転回半径の不足 | ・一方通行となるためロータリーは設置しない | ◎ | ・乗用車が転回可能な半径に改善 | ○ |
| | ③中通本線とのずれ | ・現状よりも対向角度のずれは少なくなり改善される | ○ | ・現状よりも対向角度のずれは少なくなり改善される | ○ |
| | ④環境空間の改善 | ・環境空間が増加し、環境空間比50%程度まで改善される | ○ | ・環境空間が増加し、環境空間比50%程度まで改善される | ○ |
| | ⑤乗降車台数 | ・現状よりも1台増加(4台)※反時計回りのため広場側に設置 | ○ | ・現状の3倍に増加(9台) | ◎ |
| | ⑥歩道の分離 | ・広場空間は車道を横断しないと利用できない | △ | ・立体駐車場前以外は連続した歩行者動線が確保できる | ◎ |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ・市道 中通本線に交差点を新設するため関係機関との協議調整が必要となる ・乗降場が混雑している場合、中通本線に出ないと駐車場に入場できない ・噴水(水景施設)や石碑の撤去・移設が必要 ・2000m²程度(街区公園相当)の一体的な空間確保が可能 | △ | <ul style="list-style-type: none"> ・ロータリーが混雑している場合、立体駐車場には入場可能 ・既存の景観施設は利用可能 ・2000m²程度の空間とぼぼろーど下との空間連動が可能 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・ロータリーが混雑している場合、駅広場で周回して待機可能 ・既存の景観施設は利用可能 ・環境空間が分断 |

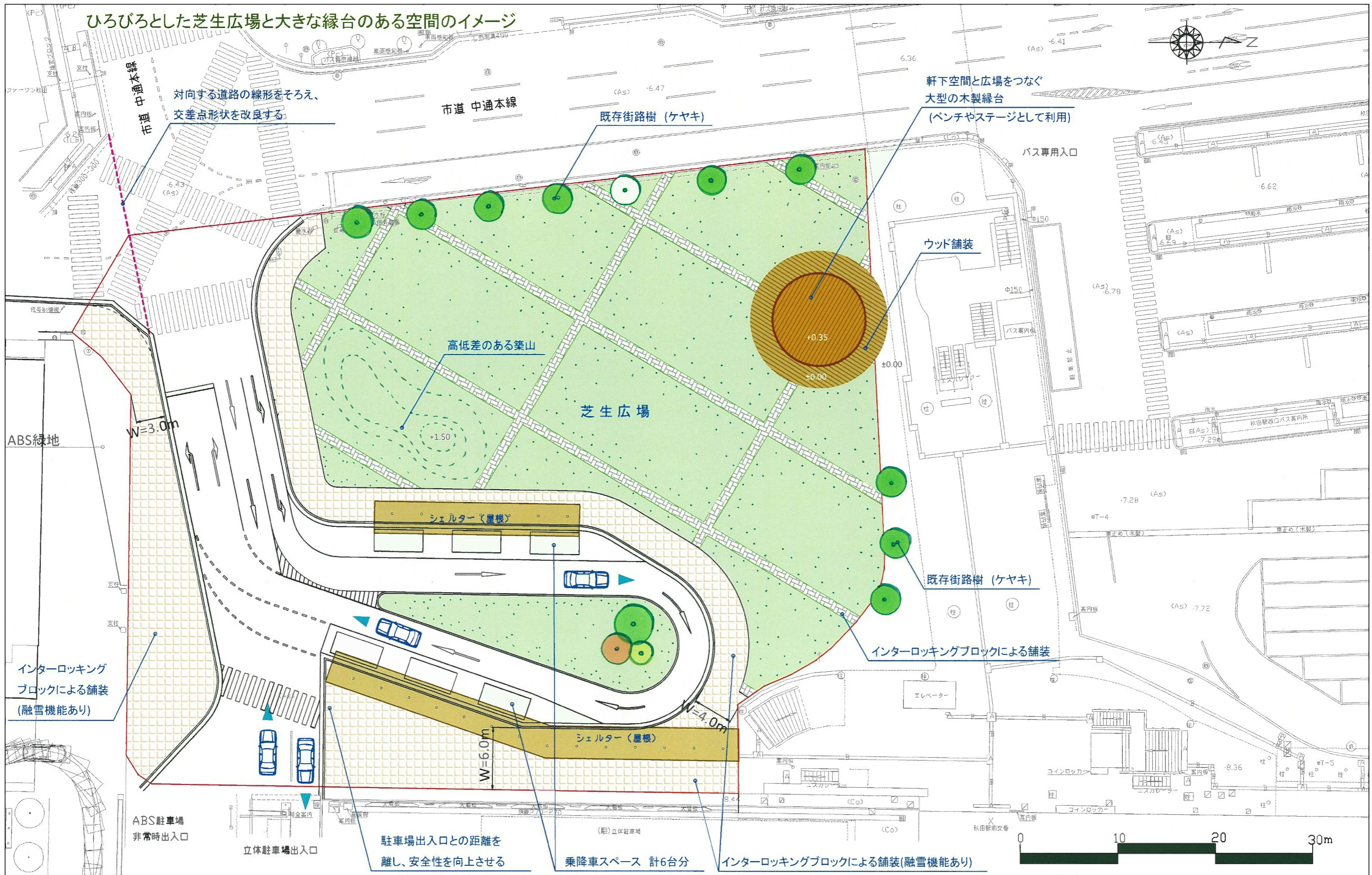
5. 動線計画について（平成30年11月26日第2回検討委員会より）

| | 第1回検討委員会 決定案 | | 動線計画課題対応 案 | |
|---|--|--------------------------------|---|--------------------------------|
| | 乗降場(ロータリー)の出入口を一体とした案 | | 広場面積を増加させ、広場への動線を改善した案 | |
| 計画平面図 |  | |  | |
| 計画方針 | ・乗降車台数を最大限確保する | | ・広場面積を大きく確保し、広場への動線を改善させる | |
| 環境空間 | ・環境空間面積 A=3,120m² | | ・環境空間面積 A=3,270m² | |
| | ・環境空間比 | $(3,120+3,174)/12,575= 50.1\%$ | ・環境空間比 | $(3,270+3,174)/12,575= 51.3\%$ |
| (西口南側の既存環境空間面積 A=1,230㎡ 西口全体の既存環境空間比 35.0%) | | | | |
| 乗降車台数 | ・広場側 | 4 台 | ・広場側 | 3 台 |
| | ・駅側 | 5 台 | 計 | 9 台 |
| (既存乗降スペース 3台) | | | | |
| シェルター / 駅側通路幅 | ・ 2基 | L= 37.0m+27.0m=60.0m | ・ 2基 | L= 43.0m+21.0m=64.0m |
| | ・駅側通路幅 W=11.0m | ・広場側通路 通行不可 | ・駅側通路幅 W=6.0m | ・広場側通路幅 W=4.0m |
| (既設シェルター規模 A=75.0㎡ ※平成30年に破損のため撤去済み) / 駅側(背面)通路幅 W=5.6m | | | | |
| 第1回検討委員会決定案における課題 | 課題の内容 | | 対応策 | |
| 歩道形状の検討 | ・ABS前の緑地を歩道と一体的に利用できないか検討する。 | | ・関係者との協議により、民有緑地を一体的には利用できない。 | |
| ロータリー設置の必要性検証 | ・乗降機能は立体駐車場内のみとして、駅前広場にはロータリーをなくし、広場空間の増大を検討する。 | | ・新幹線発着の駅においてロータリーがない駅は存在せず、送迎等の機能面においてもロータリーは必要であると判断される。 | |
| — | — | | ・広場空間拡大のためロータリー形状を変更し、それに伴い乗降車台数も変更となる。 | |

6. 環境空間の計画 (平成30年11月26日 第2回検討委員会資料より)

| | <p>景観イメージ図 ①</p> <p>ステージのある市民広場として 多目的に活用するイメージ</p> | <p>景観イメージ図 ②</p> <p>駅前に豊かな秋田の 自然を再現するイメージ</p> | <p>景観計画図</p> <p>のびのびとつろげる芝生広場と 大きな縁台がある空間のイメージ</p> |
|--------|--|---|---|
| 各案共通目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・「県都の顔」にふさわしい環境整備を行う ・自然環境に配慮し、秋田らしい空間を創出する ・維持管理に留意し長きにわたり愛される空間を整備する | | |
| 計画方針 | <ul style="list-style-type: none"> ・人の集まるイベント空間を創出し、にぎわいを演出 ・雨や雪の日においても、利便性の高い整備 <p>(都市的×活用重視)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・環境空間として緑量を重視 ・秋田の豊かな自然を在来樹種の植栽で再現 <p>(自然的×景観重視)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・のびのびとつろげるオープンスペースの創出 ・ぽぽろーどの軒下空間と広場を一体的に活用できる連続性のある整備 <p>(自然的×活用重視)</p> |
| 活用イメージ | <ul style="list-style-type: none"> ・市民広場として各種イベントの開催 ・水景施設を一部改造し、水遊びのできる空間に変更 | <ul style="list-style-type: none"> ・散策や休憩、駅舎2階部分等からの修景 ・景観性を重視 | <ul style="list-style-type: none"> ・芝生広場や縁台での休憩や遊び ・軒下空間と一体性を持ったマルシェ等の開催 |
| 主な施設整備 | <ul style="list-style-type: none"> ・ステージ ・水景施設は流末部をフラット噴水に改造 | <ul style="list-style-type: none"> ・石積みの擁壁 ・水景施設は循環ユニットを活用し、ビオトープ空間として再整備 | <ul style="list-style-type: none"> ・木製の大型縁台 ・アンジュレーション(ゆるやかな起伏)をもった芝生広場 |
| 舗装計画 | <ul style="list-style-type: none"> ・平板舗装やインターロッキングブロック舗装 | <ul style="list-style-type: none"> ・芝生舗装+地被類による植栽 | <ul style="list-style-type: none"> ・芝生舗装+グリッド状のインターロッキング舗装 |
| 植栽計画 | <ul style="list-style-type: none"> ・既存の街路樹(ケヤキ)を活用 | <ul style="list-style-type: none"> ・新規に在来樹種の植栽(ブナ・スギ・カツラ・ヤマザクラ等) ・ササ類によるグランドカバー | <ul style="list-style-type: none"> ・芝生 ・既存の街路樹を活用 |
| 整備費用 | <ul style="list-style-type: none"> ・インターロッキングブロック等、舗装費用が主な整備費用 ・水景施設(噴水)の改造に費用が必要 | <ul style="list-style-type: none"> ・高木を中心とした植栽費用が主な整備費用 ・水景施設(ビオトープ化)の改造に費用が必要 | <ul style="list-style-type: none"> ・芝生舗装が主な整備費用 ・木製の大型縁台等の整備費が必要 |
| 維持管理 | <ul style="list-style-type: none"> ・維持管理費は他案に比べ安価 ・水景施設の維持管理費は必要となる | <ul style="list-style-type: none"> ・植栽の剪定や落ち葉対策が必要 ・ビオトープは定常的な維持管理対策が必要 | <ul style="list-style-type: none"> ・芝刈りや施肥等の維持管理が必要 |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ・近隣にアゴラ広場やエリアなかいち等の類似空間が存在する | <ul style="list-style-type: none"> ・野鳥による鳥害(フンや騒音等)への対策が必要 | <ul style="list-style-type: none"> ・雨天時や降雪時のぬかるみ対策が必要 |

7. 秋田駅西口駅前広場改修事業の基本計画(原案)に関する意見聴取 (パブリックコメントの募集) において掲載した改修計画図



8. 秋田駅西口駅前広場改修事業の基本計画(原案)に関する意見聴取の結果について (平成30年12月17日~平成31年1月16日)

意見の要旨 (4人7件)

NO. 1

西口広場にバスターミナル(乗降場、待合室、案内所)の設置を提案します。
具体的には、雨風、雪を凌ぎ、外へ出なくともアナウンスによりバスの出発を案内してくれるような施設であります。

NO. 2

駐車場廃止の割に乗降スペースが少なすぎる。現状の平面駐車場は30分無料をいかして、送迎の車の待機場所の役割を果たしています。すべては乗降スペースの不足に原因があります。立体駐車場は、何階にいるのかわかりづらく、通路がせまく子どもやお年寄りの一人歩きに不安がある。

NO. 3

天然芝の場合、雪を考えたらず向きだと思ふ。
さらにイベント使用を考えると芝が悪くなるためこのような場所ではアスファルトの方が様々なイベントに使用できるのではないかと思ふ。

NO. 4

芝生広場は適切なのか。
人工芝だとすると興ざめですし、天然芝だとしたら人が集う場所での天然芝の維持管理の大変さを理解しているのか甚だ疑問です。

NO. 5

ステージの常設は、かえってイベント使用時には使い勝手が悪いのではないと思ふ。

NO. 6

外で子供がのびのびと遊べる安全に配慮された遊具を備えた公園として整備をすれば、そこで家族がお弁当を買って食べることもできるし、秋田駅前に子育て家族がもっと集まるのではないか。

NO. 7

上下水管をつけ、災害時のトイレになる設備を備えることで有事にも有効活用できるのではないか。

市の考え・対応

NO. 1

本計画は、秋田駅西口駅前広場の南側において、現有施設の課題の解消、交通機能の向上および県都の玄関口に相応しい環境空間の整備などを目的としたものです。
そのため、広場北側で既に整備済みのバスターミナルの拡充や広場南側への機能分散については、計画の対象としておりません。
なお、ご意見については、参考としてJR東日本およびバス事業者に情報提供いたします。

NO. 2

乗降スペースについては、現在の乗降スペースのほか、平面および立体駐車場の利用状況に関しての交通量調査などにに基づき計画したものです。
なお、立体駐車場に関するご意見につきましては、運営しているJR東日本に情報提供いたします。

NO. 3

芝生広場については、現状では不足している環境空間を補い、県都の顔に相応しい広場となるよう計画しているものです。
そのため、イベント時のみならず、普段の景観、憩いの場としての利用などを総合的に判断して、天然芝の広場にインターロッキングブロックの通路を配した計画としたものです。

NO. 4

芝生広場については、現状では不足している環境空間を補い、県都の顔に相応しい広場となるよう計画しているものです。
そのため、イベント時のみならず、普段の景観、憩いの場としての利用などを総合的に判断して、天然芝の広場にインターロッキングブロックの通路を配した計画としたものです。
整備後の維持管理については、適切な方法を検討してまいります。

NO. 5

ステージの必要性やそのあり方については、改めて検討します。

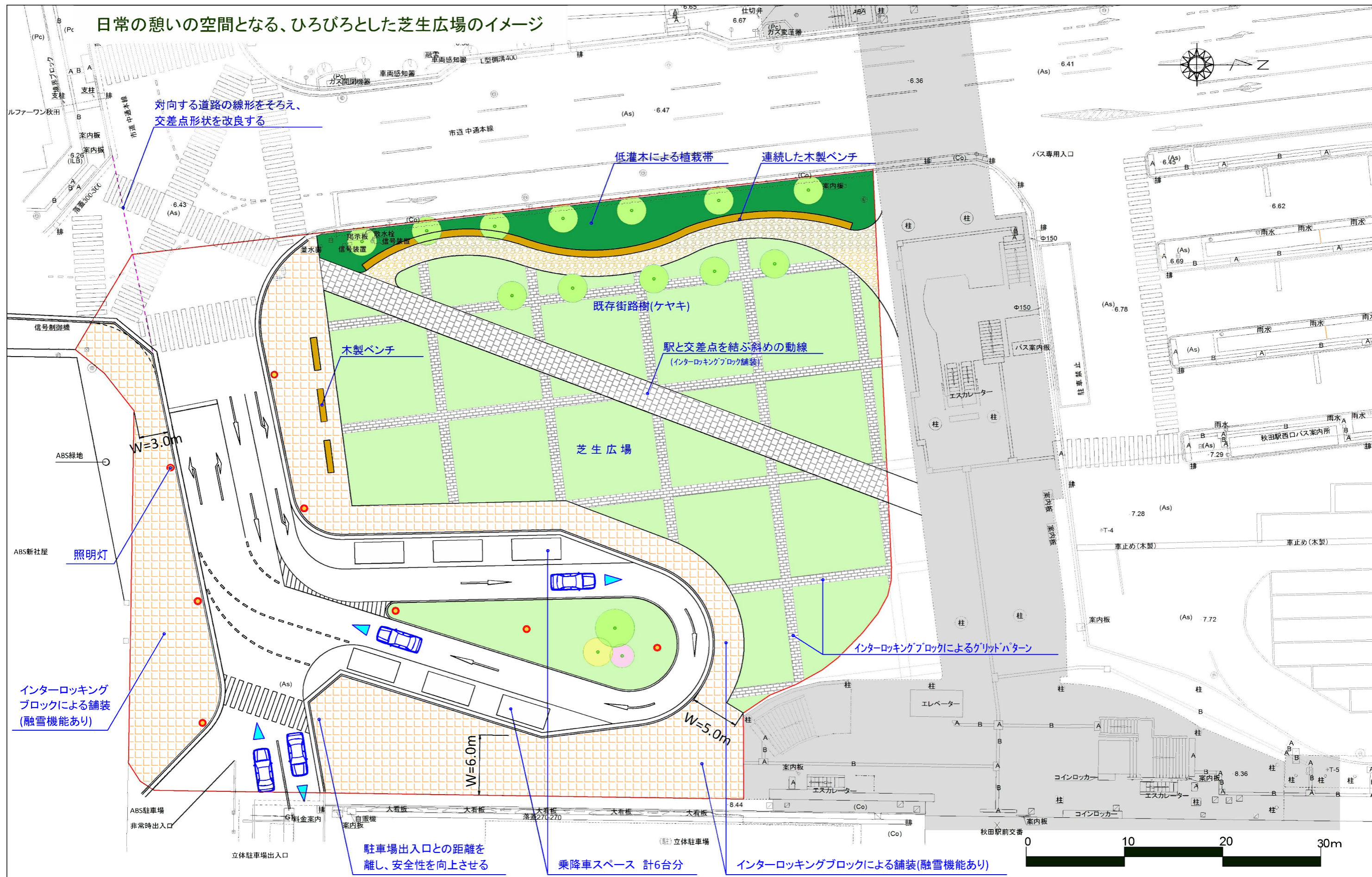
NO. 6

駅前広場については、家族でものびのびとくつろげる環境空間として、また、イベント等にも活用できるオープンスペースの確保を図られるように整備することを計画しています。
そのため、遊具の設置は考えておりません。

NO. 7

駅前広場における災害に備えた施設の必要性やあり方については、今後、関係部局や駅を管理するJR東日本と協議してまいります。

9. 秋田駅西口駅前広場 改修計画平面図



10. 改修イメージ合成写真 (フォトモンタージュ)



11. 照明計画



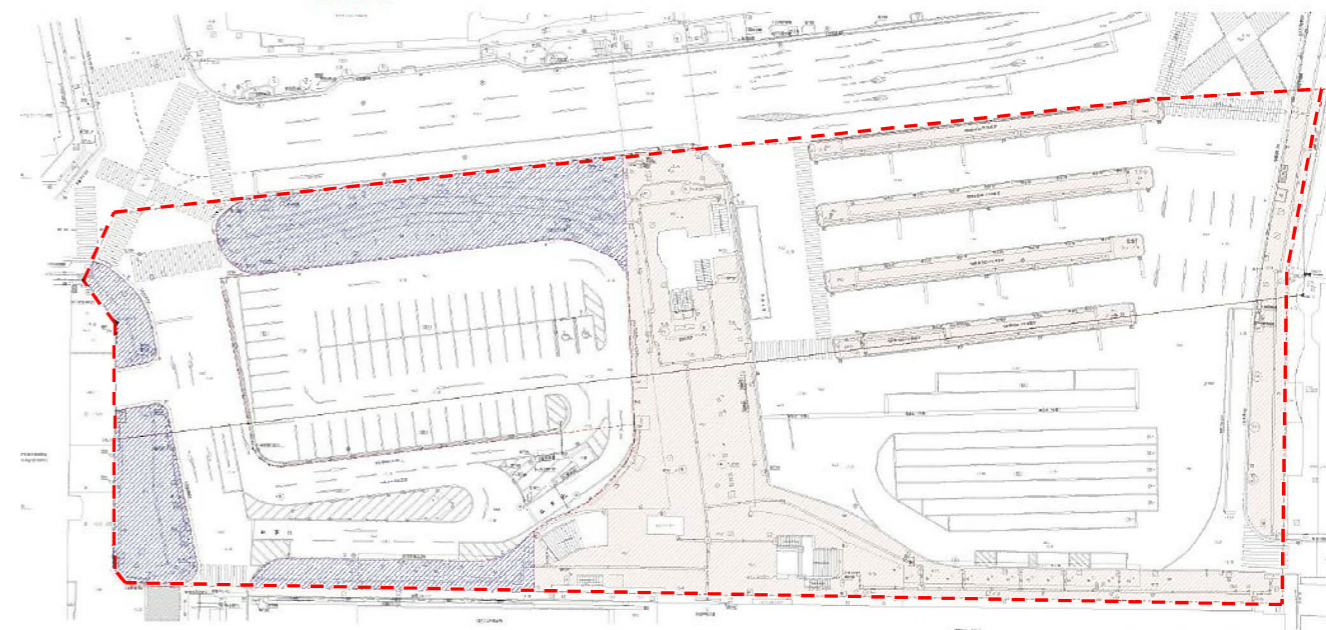
12. 整備イメージ写真

ひろびろとした芝生広場がある駅前広場のイメージ



13. 環境空間比の改善状況

現況の環境空間比 広場面積 南側エリア 北側エリアA=2,793m²



現況の環境空間面積 $1,230 + 3,174 = 4,404 \text{ m}^2$
 西口駅前広場面積(全体) $12,575 \text{ m}^2$
 現況の環境空間比 $N = 4,404 / 12,575 = 35.0 \%$



計画の環境空間面積 $3,300 + 3,174 = 6,474 \text{ m}^2$
 西口駅前広場面積(全体) $12,575 \text{ m}^2$
 現況の環境空間比 $N = 6,474 / 12,575 = 51.5 \%$

現況において車道面の舗装が大部分を占める秋田駅西口において、環境空間面積が50%を超える状態にまで改善され、緑ゆたかな駅前広場空間となる。

